



積雪期中央分水嶺(岡山・鳥取)

Vol.2 2014年分

踏査 ゆきんこ隊

協賛 創立20周年記念事業

岡山県山岳連盟 みつがしわ山の会



はじめに

ゆきんこ隊の積雪期中央分水嶺（岡山鳥取県境）の踏査も2シーズン目になりました。今シーズンは真庭市の内海峠から始めて蒜山三座を乗り越え、鏡野町の人形峠を跨ぎ、恩原高原近くの萱峠でシーズンを終えました。今シーズンは合計16日を歩き、昨シーズンから刻んだ区間は丁度30区間になりました。表紙地図に記した通り、あと1シーズンでは終わりそうにありません。

本報告文の殆どは週刊ヤマケイ投稿掲載分を少し編集し直したものです。

平成26年4月

ゆきんこ隊 隊長 船越 仁
(岡山県山岳連盟 みつがしわ山の会副会長)

ゆきんこ隊

隊長 船越 仁 (16)

副隊長 角原 覚 (16)

隊員

角原鶴子 (16) 赤木貴久子 (14) 丹治千束 (10)

佐々木順栄 (4) 西崎博子 (2) 藤川豊子 (1)

(以上隊長副隊長含めみつがしわ山の会)

妹尾東祐 (2) (岳岡山同人会)

佐々木靖昌 (4) (所属なし)

() 数字は参加回数 (全16回)

連絡先：船越 仁

岡山市北区田益 951-53

shipover5353@yahoo.co.jp

URL : <http://funachan.web.fc2.com/>

第15回 見返峠～鬼女台～内海峠

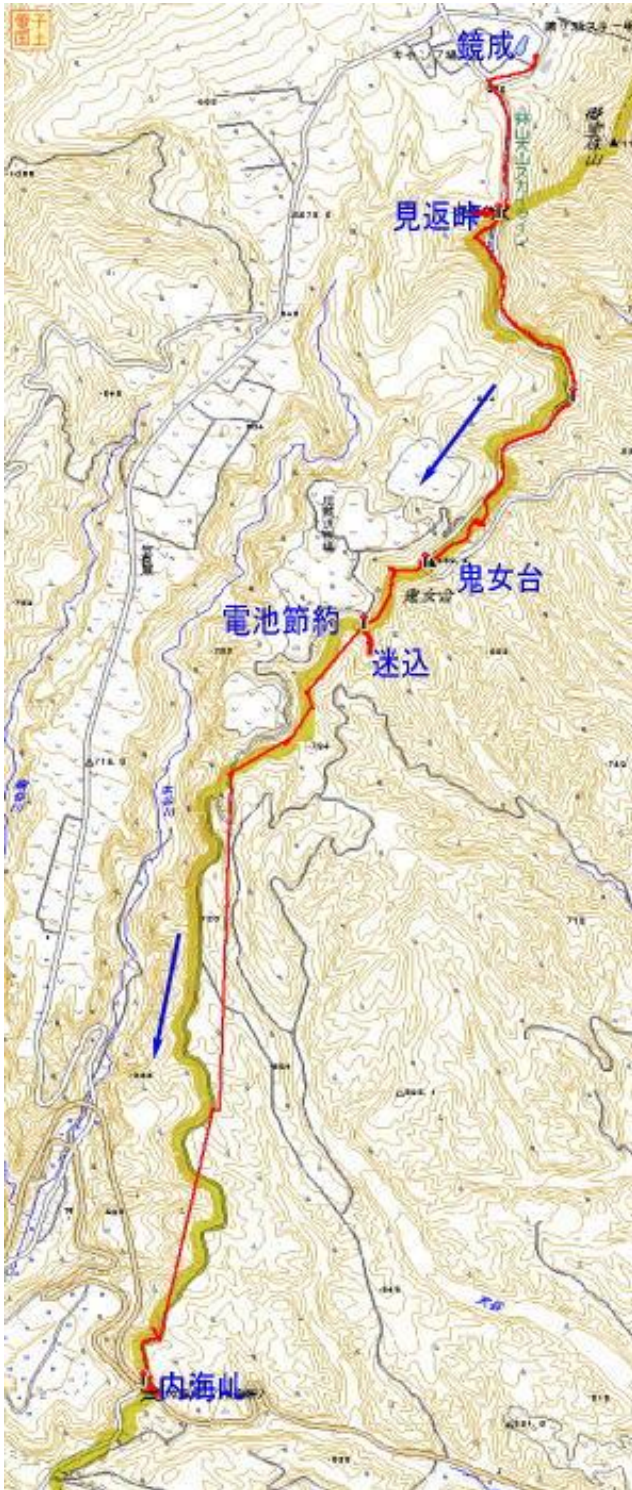
平成25年12月14日（土）小雪

行程

鏡成 9:44－見返峠 10:18－11:53 鬼女台展望所 12:15－3等三角点（大平） 12:20
－林道出合 14:37－内海峠 15:45

隊員

船越 仁 角原 覚 妹尾東祐 角原鶴子 赤木貴久子



鏡成スキー場の駐車場から歩き始めました。冬季閉鎖中の蒜山大山スカイラインをカンジキ履いて県境の見返峠まで進みます。積雪は3～40cm。これぐらいの積雪ではネマガリダケも中途半端な倒れ様で、カンジキが引っ掛かるので大変です。しかしラッセルは楽なので、あまりぜいたくは言えません。

北西の強風の中、鬼女台展望所に到着しました。ここは本日唯一の三角点（3等）のあるピークです。天気が良ければ大山南壁と烏ヶ山を眺める絶好の場所なのですが、今日は全く見えません。これから進む南方向には蒜山大山スカイライン道路が付けられ、真下に見えています。止むを得ず10m程の斜面を雪と小枝に助けられて下降しました。午後になれば頭上に落ちてくる霧氷も気温が上がらぬまま見事です。後半部は霧氷のトンネル歩き、それも下り坂の林道なのでルンルン気分です。予定帰着点の内海峠に到着しました。

約8.5kmを6時間の行程でした。

第16回 擬宝珠山～大ナメラ～アゼチ～蛇ヶ岨 平成26年1月6日(月) 小雪

行程

鏡成スキー場 8:40－見返峠 9:10－擬宝珠山 9:56－大ナメラ 12:26－アゼチ 14:28
－蛇ヶ岨 15:50－上蒜山スキー場 18:10

隊員

船越 仁 角原 覚 妹尾東祐 角原鶴子 赤木貴久子 丹治千束



新雪のこの時期の縦走には余程の条件が整わなければ、途中折り返しの確率が高いと考えていました。

早朝、上蒜山スキー場に車1台をデポします。雲ひとつない快晴の大山南壁が目に飛び込んで来ました。県境を大きく迂回する

鏡成スキー場までは、もう1台に乗り合せて行きます。

見返峠から擬宝珠山へ登ります。歩き始めて直ぐにカンジキが必要になりました。朝は晴れ渡っていたのに、どこからか嫌な雲が湧いて来て、蒜山高原側は明るく晴れているのに、山陰側の展望はゼロになってしまいました。これから行く大ナメラも雲に隠れてしまいましたが、それに繋がる稜線ははっきりと確認出来ます。五五郎のコルへ230m下り、大ナメラに向かいます。名前の如くなだらかなのは頂上台地らしく、その西面は本日の核心部でした。

大ナメラ頂上直下の登りは、気持ちを萎えさせる雪壁登攀でしたが、時刻は12時半だったので当初計画通りアゼチに向かいました。分水嶺終着点の蛇(オロ)ヶ岨到着は午後4時前。しかし、そこから林道を取り違え遠回りしてしまいました。地図上距離約12kmをセブンティーズ(70代)には過労働の9時間半のアルバイトでした。



第17回 犬挟峠～3等犬挟峠ピーク～浅井越

平成26年1月15日(水)曇

行程

犬挟峠 9:00 - 点名犬挟峠 10:15 - 迷い点 11:30 - 浅井越 13:53 - 下長田 15:30

隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 角原鶴子 丹治千束



1月10日のドカ雪による雪崩リスクを避け蒜山を後日に送ります。

下蒜山の犬挟峠登山口と道を隔てた反対側の県境尾根に取り付きます。どちらも同じ蒜山高原地域ですが、蒜山三座と比べ標高は低く、目指す仏ヶ山とて743,5mしかありません。けれども、先の事情から蒜山を避けたものの積雪量を避けることは出来ません。一旦落ち着いた雪の上に

1mの新雪が積もった4日後です。カンジキを履いても20～30cm沈みます。犬挟峠3等三角点ピークまでの約700mに1時間15分掛りました。今日の全行程は8,8km、未だ10分の1弱しか来ていません。

低山の分水嶺歩きにはそれ特有の難しさがあります。数多くのピークや谷によって分水嶺が角度を大きく変えることや、地形図上に現れない起伏などです。特に難しいのは急勾配の下りです。数十メートル下から派生している尾根は、雑木等が眼隠しになり、上から探し当てるのは至難の業です。今回も、このパターンにはまりました。確かにGPSは頼りになりますが、画面の小ささから微妙な進路の指示を期待するには無理があります。とはいえ、迷い込みに早く気付かせてくれるのが強みです。

そんなことも楽しみながら、予定のほぼ半分の浅井越で打ち切り時間になりました。集落まで2km弱、谷筋の重くなった深雪を下りました。下るのに1時間半要したこの谷筋にはもう一度来なくてはなりません。



第18回 県道115峠～国道482福本峠～林道峠 平成26年1月21日(火)曇

行程

別所 8:45 - 県道115峠 9:29 - 国道482福本峠 11:33 - 県境分水嶺不一致箇所 12:22
- 下山地点 14:15 - 常藤 15:10

隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 角原鶴子 丹治千束



またまた新雪があり諸事情を考慮し、エスケープの容易そうな蒜山別所地区を歩くことにした。仏ヶ山は雪が落ち着けば来週にでも済ませたい。蒜山常藤P2に車1台をデポし、別所P1から歩き始めた。

三朝方面への国道482福本峠はここが県境・分水嶺？と疑う

ような平地の峠です。道を横断し、まだまだ歩きます。

県境ラインと分水嶺が一致しない場所があります。尾根下に付いた林道の為、こんなことになったのかも知れません。我々はタイトル通り中央分水嶺を歩くことにして昼食にしました。

終盤の尾根では又もホイホイ、オーバーランして引き返しました。

丁度良い時間です、今日は此処まで。

次回の為に、目印の赤テープを付けて下山します。



国道福本峠